

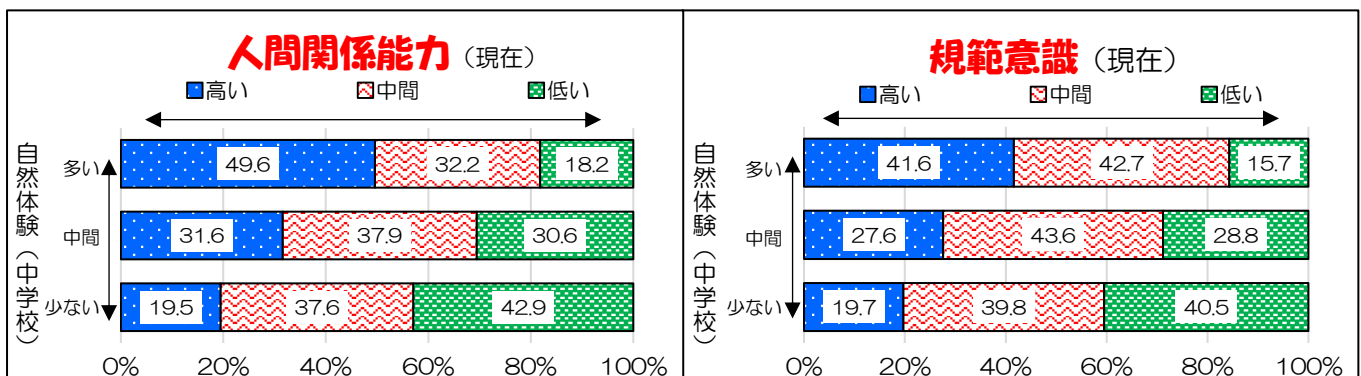
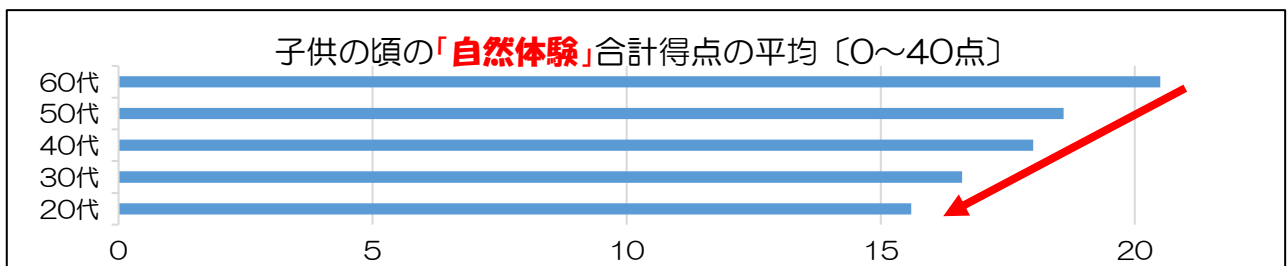


# みねの風

子育て中の親や  
子供に関わる方へ

★自然体験が若い世代ほど少なくなっている。  
★中学校期の「自然体験」が多い群ほど、大人になってからの「人間関係能力」や「規範意識」が高い。

❓ 現代の子供たちに求められる「人間関係能力」や「規範意識」。「自然体験」にはそれらを高める効果があると報告されていました。なぜ「自然体験」が、「人間関係能力」や「規範意識」を高めるのでしょうか。



### 【調査概要】

調査対象	人数	方法	期間
青少年調査	11,000人	郵送法による質問紙調査	H21.11.27~12.18

出典 独立行政法人国立青少年教育振興機構 (2010) : 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書、P20, 56, 57

### 【風をよむ】

人工知能 (AI) やIoTの普及により、ロボットや自動走行車等、最新の科学技術が発達している現代において、旅行やキャンプ等のアウトドアも、バーチャルな世界で、家にいながら楽しめる時代になってきました。ところが最近では、実際にキャンプやグランピング等をする人が急増しています。

自然の中でキャンプやBBQ等をやってみると、いろいろと不便だったり、不快だったり、困ったりすることがあります。また、人と過ごすことで、自分が思うようにできなかったり、腹が立ったりすることもあります。しかし、実際にやってみて、できるようになったとき、そこに「感動」が生まれます。自然の中で、人とかわりながら様々な体験をすることで「知識」が「知恵」になります。

最近時折「不便益」という言葉を耳にします。自然体験活動をとおして、あえて「不便」を楽しむことで、「知識」が経験を伴った「知恵」にバージョンアップするのではないのでしょうか。

長崎県教育庁生涯学習課 課長補佐 五十嵐 大輔

☆直接メール配信も行っていますので、必要な方は下記アドレスへ連絡ください。  
☆可能であれば、本用紙を印刷し子供たちへ配布していただければと思います。

 **長崎県立対馬青年の家**  
TEL : 0920-83-0559  
E-mail : tsushima1186@sea.tcctv.ne.jp

【対馬青年の家 Facebook】  
過去の資料も閲覧可能です。  
「いいね」をお願いします。

